

## 障がい者アート協会×古着deワクチン

衣類回収袋のデザインに採用されたのは、進行性筋ジストロフィー症を発症し、26歳から人工呼吸器を使用しながらCG制作を中心に創作活動をしている山下重人さんの作品「Sunflower」です。

太陽のように人々の生活を豊かにしてくれる象徴的な花=ひまわりをテーマに、形や大きさがまばらな花卉は人々の多様性を、中心の筒状花は地球をイメージし、世界がひとつであることを表現しています。

古着deワクチンの販売個数に応じて著作権料をお支払いすることで、山下さんのアート活動をサポートします。



### 🍀 山下重人さん

私は生きるために人よりも多くの支援を必要としますが、こんな私でも世界で困難を抱える方の支援に関われることは一番の喜びです。また、支援はどんな人間にもできることがある、という証明になりえるかもしれません。これは私のこれまでの人生のテーマの一つでもあります。「古着deワクチン」が、多くの方々の幸せに繋がることを心から願っております。

山下重人アートギャラリー  
SHIGEART-NET  
<https://shigeart.net/>



## 国内の福祉作業所で障がいのある方が作業

このお礼状、専用回収キットなどの梱包から、お客様の元への発送まで、国内の福祉作業所が一貫して行っています。国内の障がいのある方たちのお仕事にもつながっています。



### 🍀 天成舎 施設長 石原久子さん

「天成舎」で古着deワクチンの専用回収キットの製造を担当して5年になります。現在54名の利用者さまが働いており、約10名が専用回収キット製造を担当しています。専用回収キットは主に知的障がいのある方が担当。仲間と共に役割をもって働くことで、自分のすべきことを学び、日々成長しています。



### 🍀 利用者 鈴木龍也さん

この施設ではさまざまな仕事をさせてもらっています。古着deワクチンの衣類回収袋は素材がしっかりしているので、専用回収キットの外箱の大きさに折り曲げる工程は意外と力とスタミナが必要なんです。家電が好きでいつか家電量販店で働くのが夢です。ここで仕事を学んでいつか夢を叶えたいです。

## 千葉県木更津市の「古着deワクチンセンター」では開発途上国の方たちが楽しく働いています

皆様からお送りいただいた衣類などは、千葉県木更津市にある「古着deワクチンセンター」に集められ、輸出前の作業を行います。作業を行うのは日本に住むフィリピンの方たちがほとんど。おしゃれて快適な空間での作業で、お送りいただいた衣類を大切に扱い、丁寧に選別しています。また、フィリピンの方たちの雇用を生み出しています。



### 🍀 エルサ

日本に来てから様々な仕事をしてきましたが、今の職場が一番自分らしく働けております！フォークリフトの免許もとり、毎日安全第一でみんなと協力して輸出準備しております。私の仕事が、未来の子どもたちの為や社会貢献につながることにやりがいを感じています。また、全国のみなさんが送ってくださるお手紙や子どもたちが袋に一生懸命描かれた絵を見るたびにパワーをもらえています。この環境でお仕事ができるのは皆さまのおかげです。



### 🍀 マルディ

楽しい同郷の仲間や、やさしい日本人スタッフと一緒に、人の役に立てる仕事ができやりがいを感じています。日本に長く住んでいろいろな仕事をしてきましたが、「古着deワクチンセンター」は今までで一番動きやすいと感じています。